

## 国際アクチュアリー会 (IAA) 死亡率ワーキンググループ アップデート - 2014 年第 1 回会議

死亡率ワーキンググループ(MWG) では年 2 回、会議を行っています。この会議は IAA の様々な委員会・ワーキンググループの 5 日間の一連の会議の中で行うもので、当ワーキンググループでは、死亡率に関する様々な論点について議論する半日のセッションを 2 回行っています。2014 年の第 1 回会議は 2014 年 3 月にアメリカのワシントン DC で開催されました。

ワシントンでの MWG の議論の概要は以下のとおりです。この会議(および以前の会議)の議事録、プレゼンテーションの内容や資料は、以下のウェブサイトです。

<http://www.actuaries.org/mortality>

現在、MWG の資料・議論へのアクセスはログインを必要とせず、一般入手が可能となっています。

### ワシントン会議

この会議で議論されたトピックは以下のとおりです。

- **各国の報告 (Country reports)** がカナダ、フィンランド、イタリア、ポーランドおよびアメリカから提供されました。これらの報告はそれらの国々での最近の保険業界の活動と関連した死亡率の概要となります。イタリアの年金受給者の死亡率に関する資料は 2040 年までの将来推計を含んだものであり、最近公表されました。また、最新の 2010 年のイタリアの国民生命表も作成されました。ポーランドでは、最新の 2012 年の国民生命表が公表されました。この報告には、最近の HIV/AIDS がポーランドの人口に与えた影響も含まれています。
- **アメリカの進展**: 個人定期保険において解約が死亡率に与える影響、個人保険の簡易査定契約の継続率調査、団体定期保険の死亡率、個人保険の死亡率改善の仮定、保障機能が付いていない私的年金の死亡率に関する報告が公表されました。報告には様々なマーケットの特徴を捉えた統計も多く含まれています。
- **イギリスの進展**: 最近、CMI から 2 つのワーキングペーパーが公表されました。(ONS が)生命表(時点テーブルおよびコーホートテーブル)に基づく最新の過去データおよび推計データを提供しました。また、ONS が人口推計に関するトピックガイドを公表しました。次のイギリスの国勢調査は完全にオンラインで実施される見込みです。オーストラリアは最新の国勢調査においてすでにその手法を用いていることが言及されました。
- **MWG の活動の公表** このグループの資料および議論を、IAA のウェブサイトへのログインを必要とせず入手可能とすることが合意されました。このレポートは様々な言語に翻訳され、また、その利用状況をモニターすることにより、これを継続するのに十分な関心があるか否かを評価することとしています。
- **“The Longevity Dividend Initiative”** Jay Olshansky 氏(ゲスト・スピーカー)が IAA 会議終了後に開催された ICA でのプレゼンテーションに関する追加的な考察を発表しました。
- **“カナダにおける年金の死亡率”** Louis Adams 氏がカナダの社会保障年金の死亡率に関する研究結果を説明しました。所見の 1 つとして、公的スキームにおいても、高額の年金の死亡率が低いということが述べられました。Louis 氏はその後の ICA でもこのトピックについて発表しました。
- **国際的な経験率調査** このプロジェクトを今後どのように運営すべきかについて議論がありました。現在、この作業は SOA の援助のもと行われています。
- **アメリカの個人保険業界の経験率調査** 将来の経験死亡率調査がどのように行われるかについて、変更点がプレゼンテーションされました。この変更は、責任準備金とソルベンシーに関してアメリカで導入予定の”原則主義法”のもとでの保険監督者による新たな強制要件からくる、経験死亡率調査の性質の変化を反映するものです。

MWG の次回会議は 2014 年 9 月 10-14 日にイギリスのロンドンで開催されます。9 月 15-17 日にイギリスのバーミンガムで、[International Mortality and Longevity Symposium 2014](#) が続いて開催されます。

### **IAA 死亡率ワーキンググループとは?**

死亡率ワーキンググループは、死亡率を研究し、また、世界中のその他の機関により実施された調査をモニターするために存在しています。政府や世界中の機関(例えば、WHO や UN)が支援するプログラムや、保険商品(死亡、年金、生前給付を含む)への影響に焦点をあてています。MWG の研究対象には、全体の群団、生命・年金保険群団、その他の部分群団の経験死亡率調査も含まれています。

グループビジョン:

*MWG は死亡率やそのトレンドに関する考察や知識を提供する卓越した国際的なアクチュアリー組織になります。*

ワーキンググループで焦点となった事柄は <http://www.actuaries.org/mortality> に概要が示されています。グループに関して更に多くの情報が記載されたパンフレットが、当該ページの下部で提供されています。

死亡率ワーキンググループが現在関心を持っている領域を見ると、特に興味深いかもしれません。これは、<http://www.actuaries.org/mortalityinfo> に示されています。当該ページはワーキンググループがカバーしている諸処の研究について閲覧できる、一般利用可能なライブラリーであり、中には国際的にアクチュアリーが関心を抱くであろう資料が置かれています。

### **返答および提案**

IAA 死亡率ワーキンググループは、我々の研究に関する皆さんのインプットや提案を喜んで受け付けています。自国の死亡率ワーキンググループの代表者または [iaamwg@actuaries.org](mailto:iaamwg@actuaries.org) に、どんなコメントでも送付してください。